

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2018-124485(P2018-124485A)
 【公開日】平成30年8月9日(2018.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報2018-030
 【出願番号】特願2017-17860(P2017-17860)
 【国際特許分類】

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 C 13/00

B 2 4 B 9/14 D

B 2 4 B 9/14 A

B 2 4 B 9/14 C

B 2 4 B 9/14 H

B 2 4 B 9/14 F

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月24日(2019.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡フレームにレンズを嵌め込むために前記レンズの周縁を加工した加工済レンズを修正加工するための修正加工情報を設定する眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置であって、
 前記加工済レンズに関する形状データを取得する形状データ取得手段と、
 前記形状データ取得手段によって取得された前記形状データに基づいて、記憶手段に記憶された加工情報から前記加工済レンズを得るために用いた加工情報を取得する加工情報取得手段と、

修正加工情報を得るための修正データを設定する設定手段と、

前記加工情報取得手段によって取得された前記加工情報を前記設定手段によって設定された前記修正データに基づいて修正することによって、修正加工情報を取得する演算手段と、

を備え、前記修正加工情報に基づいて前記加工済レンズの修正加工を可能とすることを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置。

【請求項2】

請求項1の眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置において、

前記形状データ取得手段は、前記加工済レンズと、前記眼鏡フレームのリムと、前記眼鏡フレームのリムに嵌まり込むデモレンズと、の少なくともいずれかの外形形状データを前記形状データとして取得することを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置。

【請求項3】

請求項2の眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置において、

前記形状データ取得手段は、前記加工済レンズと、前記デモレンズと、の少なくとも一方の面形状データを前記形状データとして取得することを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置。

【請求項 4】

眼鏡フレームにレンズを嵌め込むために前記レンズの周縁を加工した加工済レンズを修正加工するための修正加工情報を設定する眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置であって、

レンズの外形形状を測定する外形形状測定ユニットによって、前記加工済レンズの外形形状データを取得する形状データ取得手段と、

前記形状データ取得手段によって取得された前記外形形状データに基づいて、記憶手段に記憶された加工情報から前記加工済レンズを得るために用いた加工情報を取得する加工情報取得手段と、

修正加工情報を得るための修正データを設定する設定手段と、

前記加工情報取得手段によって取得された前記加工情報を前記設定手段によって設定された前記修正データに基づいて修正することによって、修正加工情報を取得する演算手段と、

を備え、

前記修正加工情報に基づいて前記加工済レンズの修正加工を可能とすることを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置。

【請求項 5】

請求項 1～6 のいずれの眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置を備える眼鏡レンズ周縁加工装置であって、

レンズの周縁を加工するための加工具と、

前記修正加工情報に基づいて、前記加工具を制御し、前記加工済レンズの修正加工をする加工制御手段と、

を備えることを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工装置。

【請求項 6】

眼鏡フレームにレンズを嵌め込むために前記レンズの周縁を加工した加工済レンズを修正加工するための修正加工情報を設定する眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置において用いられる眼鏡レンズ周縁加工情報設定プログラムであって、前記眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置のプロセッサによって実行されることで、

前記加工済レンズに関する形状データを取得する形状データ取得ステップと、

前記形状データ取得ステップによって取得された前記形状データに基づいて、記憶手段に記憶された加工情報から前記加工済レンズを得るために用いた加工情報を取得する加工情報取得ステップと、

修正加工情報を得るための修正データを設定する設定ステップと、

前記加工情報取得ステップによって取得された前記加工情報を前記設定ステップによって設定された前記修正データに基づいて修正することによって、修正加工情報を取得する演算ステップと、

を前記眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置に実行させることで前記修正加工情報に基づいて前記加工済レンズの修正加工を可能とすること特徴とする眼鏡レンズ周縁加工情報設定プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0008

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0008】

(1) 本開示の第1態様に係る眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置は、眼鏡フレームにレンズを嵌め込むために前記レンズの周縁を加工した加工済レンズを修正加工するための修正加工情報を設定する眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置であって、前記加工済レンズに関する形状データを取得する形状データ取得手段と、前記形状データ取得手段によって取得された前記形状データに基づいて、記憶手段に記憶された加工情報から前記加工済レンズを得るために用いた加工情報を取得する加工情報取得手段と、修正加工情報を得るため

の修正データを設定する設定手段と、前記加工情報取得手段によって取得された前記加工情報を前記設定手段によって設定された前記修正データに基づいて修正することによって、修正加工情報を取得する演算手段と、を備え、前記修正加工情報に基づいて前記加工済レンズの修正加工を可能とすることを特徴とする。

(2) 本開示の第2態様に係る眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置は、眼鏡フレームにレンズを嵌め込むために前記レンズの周縁を加工した加工済レンズを修正加工するための修正加工情報を設定する眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置であって、レンズの外形形状を測定する外形形状測定ユニットによって、前記加工済レンズの外形形状データを取得する形状データ取得手段と、前記形状データ取得手段によって取得された前記外形形状データに基づいて、記憶手段に記憶された加工情報から前記加工済レンズを得るために用いた加工情報を取得する加工情報取得手段と、修正加工情報を得るための修正データを設定する設定手段と、前記加工情報取得手段によって取得された前記加工情報を前記設定手段によって設定された前記修正データに基づいて修正することによって、修正加工情報を取得する演算手段と、を備え、前記修正加工情報に基づいて前記加工済レンズの修正加工を可能とすることを特徴とする。

(3) 本開示の第3様態に係る眼鏡レンズ周縁加工装置は、(1)又は(2)の眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置を備える眼鏡レンズ周縁加工装置であって、レンズの周縁を加工するための加工具と、前記修正加工情報に基づいて、前記加工具を制御し、前記加工済レンズの修正加工をする加工制御手段と、を備えることを特徴とする。

(4) 本開示の第4態様に係る眼鏡レンズ周縁加工情報設定プログラムは、眼鏡フレームにレンズを嵌め込むために前記レンズの周縁を加工した加工済レンズを修正加工するための修正加工情報を設定する眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置において用いられる眼鏡レンズ周縁加工情報設定プログラムであって、前記眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置のプロセッサによって実行されることで、前記加工済レンズに関する形状データを取得する形状データ取得ステップと、前記形状データ取得ステップによって取得された前記形状データに基づいて、記憶手段に記憶された加工情報から前記加工済レンズを得るために用いた加工情報を取得する加工情報取得ステップと、修正加工情報を得るための修正データを設定する設定ステップと、前記加工情報取得ステップによって取得された前記加工情報を前記設定ステップによって設定された前記修正データに基づいて修正することによって、修正加工情報を取得する演算ステップと、を前記眼鏡レンズ周縁加工情報設定装置に実行させることで前記修正加工情報に基づいて前記加工済レンズの修正加工を可能とすることを特徴とする。